



第5回 日本光合成学会年会

日時	2014年5月30日(金) 13時 ~ 31日(土) 15時30分
会場	近畿大学 農学部 奈良キャンパス
参加費	一般(会員) 2,000円 / 一般(非会員) 3,000円 / 学生 無料
懇親会費	一般 3,000円 / 学生 2,000円



近畿大学農学部 キャンパスマップ

参加申し込み、ならびにポスター・口頭発表申し込み方法は、
日本光合成学会ホームページ (<http://photosyn.jp/event.html>) をご覧下さい

公開シンポジウム 「多様な光合成の世界」

5/30

セッション1：多様性からみた光合成生物の生存戦略

植生分布の多様性を利用した光合成タンパク質研究
中里拓也(メンフィス大学)、増田真二(東京工業大学)

C1微生物-植物系によるC1炭素固定
阪井康能(京都大学)

原形質流動による成長制御から考える植物の光戦略
富永基樹(理化学研究所・JST さきがけ)

藻類の多様性と光化学系
鞆 達也(東京理科大学)

5/31

セッション2：光合成の多様性と進化

サンゴ共生藻の魅力：光合成研究の観点から
高橋俊一(Australian National University)

クロロフィルの光エネルギー捕集にみられる多様性
秋本誠志(神戸大学・分子フォトサイエンス研究センター)

クロロフィルを制したものが光環境を征した一プロティストと二次植物の進化
柏山祐一郎(福井工業大学)

自然界の多様性を生かした研究戦略：珪藻の世界
菓子野康浩(兵庫県立大学)

5/31

特別セッション：活性酸素研究の歩み

Water-water cycle と光化学系 I 循環的電子伝達
遠藤 剛(京都大学)

光合成と酸素 ~O₂への拘りを学んで~
三宅親弘(神戸大学)

活性酸素の功と罪-基礎研究の実用化までの道のり
小川健一(岡山県生物科学総合研究所)

過酸化脂質由来のカルボニル種は(が?)酸化シグナルである
真野純一(山口大学)

オーガナイザー：鞆 達也(東京理科大学)、園池公毅(早稲田大学)

熊崎 茂一(京都大学) 年会企画委員長 kumazaki@kuchem.kyoto-u.ac.jp

重岡 成(近畿大学) 年会準備委員長

田茂井政宏(近畿大学) 年会準備委員